



諏訪小だより



令和8年6月19日 富士見市立諏訪小学校

目指す学校像

楽しみな学校～ だれもが楽しみな学校、地域と共に楽しむ学校 ～

楽しみな学校

「次の図工、楽しみ。」「明日のキムチチャーハン楽しみ。」「次の学級レク、早くやりたいな。」「音楽会の曲、決まった。良い曲でしょ。」「今日こそ九九を全クリするよ。」「明日、クラスで文化の杜に行くんだ。校長先生も来てよ。」「えっもう終わり、もっとやりたい。」

子供たちからよく聞く学校の「楽しみ」です。学校にはいろいろな「楽しみ」があります。しかし、「だれもが楽しみな学校」となることは、困難なことかもしれません。それでも、子供たちにとって少しでも楽しみな学校となるよう全教職員で教育活動の充実に取り組んでいきます。

今年度の目指す学校像を「楽しみな学校～だれもが楽しみな学校、地域と共に楽しむ学校～」とします。保護者・地域の皆様には、今後ともご協力をお願いいたします。

あいさつは心のつながり

あいさつの雰囲気は「心のつながり」と関係があります。

学校での児童は、親しい友達や職員には、本当に明るい表情であいさつをしています。あまり親しくない友達や来校者には、あいさつをしなかったり、声が小さかったりすることがあります。

また、あいさつをすることが得意な児童も、苦手な児童もいます。

自然に元気なあいさつができる児童は、簡単なコミュニケーションをとることに抵抗が少ない児童です。あいさつをすることが苦手な児童は、親しい人へのあいさつや小さい声でのあいさつから始めて、あまり話をしないけれどお世話になっている方（交通指導員や地域の方）にもあいさつができるようになるとういす。そして、あいさつを通して、心のつながりを感じたり、心をつないだりすることができるようになさしたいです。

地域や家庭でのあいさつはどうでしょう。

「あいさつが盛んな地域では犯罪を起こしにくい」

ということを知ったことがあります。また、「児童が、知らない人に声をかけることは、不審者のことを考えると怖い」ということも聞きます。しかし、本校の児童には、少しずつでも、お世話になっているご近所や地域の方に、大人がしているように、あいさつをすることができるようになってほしいと考えています。保護者・地域の方もご協力をお願いいたします。

校長 森靖幸